

「北海道史への扉」第2号 執筆予定者（敬称略）

表紙／目次

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| 1 論文／研究ノート（2,000字～20,000字） | |
| 坂下 明彦（産業・経済部会 編さん委員） | |
| 前田 亮介（政治・行政部会 調査研究委員） | |
| 大矢 一人（教育小部会 調査研究委員） | |
| 西田 秀子（概説部会 編さん委員） | |
| 2 担当分野の構想（2,000字～20,000字） | |
| 小川 正人（共通 調査研究委員） | |
| 3 余録（1頁＝1,632字以内） | |
| 谷本 晃久（概説部会 専門委員） | 1 頁 |
| 佐藤 郁夫（産業・経済部会 調査研究委員） | 1 頁 |
| 林 美枝子（社会・文化小部会 調査研究委員） | 1 頁 |
| 編さん室報告 | 4 頁 |
| 委員名簿 | 4 頁 |
| 編集後記 平野友彦（「北海道史への扉」編集小部会長）・表紙写真解説 | |
| 英文目次 | |

計 36 頁

（1及び2を1本あたり5頁平均として）

原稿締め切り 2021年2月10日

配信開始 2021年3月25日

(参考)

「北海道史への扉」第1号の構成

(敬称略)

表紙／目次

発刊によせて	小磯修二（道史編さん委員長）	1 頁
北海道史の編さん方針について	桑原真人（編集長）	4 頁
■特集 新たな道史に望む		
『北海道現代史』に望む		
田端宏（道史編さん委員、北海道史研究協議会会長）		1 頁
新しい北海道史像を求めて		
大庭幸生（元『新北海道史』編集員）		1 頁
史料の蒐集と、北海道の独自性・特殊性へのまなざしと		
山本和重（東海大学教授）		1 頁
映像や演劇などの大衆文化が新たな北海道史にもたらすものとは		
Jonathan Bull（北海道大学講師）		2 頁
北海道の自立・自治・独創性、その形と意味を		
佐藤宥紹（釧路短期大学教授）		1 頁
■研究ノート		
占領期における米軍による人身被害		
平野友彦（概説部会／専門委員）		6 頁
■余 録		
オーラル・ヒストリーの可能性		
山崎幹根（政治・行政部会／専門委員）		1 頁
石炭資料調査雑感		
青木隆夫（産業・経済部会／調査研究委員）		1 頁
記録の保存と活用をめぐる困難		
角 一典（社会・文化小部会／調査研究委員）		1 頁
編さん室報告		5 頁
委員名簿 道史編さん大綱 道史編さん委員会条例		6 頁
編集後記 平野友彦（「北海道史への扉」編集小部会長）・表紙写真解説		
英文目次		

計 31 頁

配信開始 2020年3月25日